

(様式第 9)

東医大発第 529 号  
平成 21 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人東京医  
理事長 伊東

東京医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	76.3 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	609人	167人	626.2人	看護業務補助	91人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	29人	5人	29.6人	理学療法士	8人	臨床検査技師	100人
薬剤師	54人	0人	54.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	2人
保健師	6人	0人	6.0人	視能訓練士	8人	その他	1人
助産師	33人	0人	33.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	894人	14人	904.3人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	6人	0人	6.0人	栄養士	4人	その他の技術員	10人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	240人
管理栄養士	9人	4人	9.7人	診療放射線技師	65人	その他の職員	13人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	706人	8人	714人
1日当たり平均外来患者数	2,598人	80人	2,678人
1日当たり平均調剤数	758 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層切離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	111人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	28人
・多発性硬化症	58人	・ウェゲナー肉芽腫症	39人
・重症筋無力症	78人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	50人
・全身性エリテマトーデス	320人	・多系統萎縮症	6人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	71人	・膿疱性乾癬	11人
・サルコイドーシス	91人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・筋萎縮性側索硬化症	13人	・原発性胆汁性肝硬変	58人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	123人	・重症急性膵炎	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	121人	・特発性大腿骨頭壊死症	16人
・結節性動脈周囲炎	12人	・混合性結合組織病	22人
・潰瘍性大腸炎	196人	・原発性免疫不全症候群	6人
・大動脈炎症候群	23人	・特発性間質性肺炎	8人
・ビュルガー病	63人	・網膜色素変性症	52人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	3人
・脊髄小脳変性症	50人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	63人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・パーキンソン病関連疾患	105人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	86人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に4回程度(「臨床病理検討会」を毎月最終月曜日に定例開催)		
剖検の状況	剖検症例数	66 例	剖検率 7.1 %

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
マウスおよびヒトぶどう膜炎における抑制性補助シグナル分子の役割	臼井 嘉彦	眼科学	1,000	補委 文部科学省
ペーチェット病における疾患特異的自己抗原のプロテオミクスによる網羅的解析	奥貫 陽子	眼科学	1,500	補委 文部科学省
補助刺激分子の関わる血管新生の新しいメカニズムと治療法の開発	服部 貴明	眼科学	2,700	補委 文部科学省
難治性ぶどう膜炎におけるタクロリムスの神経保護の解明と臨床応用に向けた開発	大井 桂子	眼科学	1,300	補委 文部科学省
角膜移植免疫におけるTh17細胞の役割	櫻井 裕	眼科学	1,500	補委 文部科学省
赤外線観察カメラシステムを用いた肺癌センチネルリンパ節ナビゲーション手術の開発	一ノ瀬 修二	外科学(1)	600	補委 文部科学省
経皮TLRリガンド免疫法を用いた肝炎ウイルスに対するワクチン開発	古市 好宏	内科学(4)	1,100	補委 文部科学省
眼内悪性腫瘍における新規免疫療法の開発	後藤 浩	眼科学	1,800	補委 日本学術振興会
難治性ぶどう膜炎に対する神経ペプチド遺伝子導入ヒト免疫制御細胞の開発	毛塚 剛司	眼科学	1,200	補委 日本学術振興会
領域別診療フレーム解析を用いた救急医療における医療安全と質保証に関する研究	織田 順	救急医学	2,300	補委 日本学術振興会
呼吸器悪性腫瘍(肺癌および中皮腫)の生物学的性格に基づく新規診断・治療戦略の構築	平野 隆	外科学(1)	3,500	補委 日本学術振興会
肺癌セルライン樹立とその利用に関する研究	野村 将春	外科学(1)	800	補委 日本学術振興会
発作性頭位めまい症の発症メカニズムとエストロゲンの前庭器内局在に関する基礎的研究	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	700	補委 日本学術振興会
肺胞II型上皮細胞の内因性機能異常を起点とする肺線維化機序の分子生物学的研究	瀬戸口 靖弘	内科学(1)	1,800	補委 日本学術振興会
慢性骨髄性白血病におけるDNA修復エラーの分子病態と微小残存病変の制御の研究	田内 哲三	内科学(1)	1,200	補委 日本学術振興会
高齢化社会を豊かにするIT活用医療支援システムの構築:ICタグによる尿失禁検知	秦野 直	泌尿器科学	4,100	補委 日本学術振興会
NF- $\kappa$ B活性阻害剤の尿路上皮癌への抗癌剤としての応用	堀口 裕	泌尿器科学	1,100	補委 日本学術振興会
創傷治癒過程におけるToll様受容体シグナルの役割	坪井 良治	皮膚科学	1,500	補委 日本学術振興会
早期アルツハイマー病(軽度認知障害を含む)の画像診断	羽生 春夫	老年病学	500	補委 日本学術振興会
吸入麻酔ターゲット因子の新規定量解析による麻酔作用機序の考究	松本 晶平	麻酔科学	1,600	補委 日本学術振興会
新規脳保護法を導く脳内トランスポーターコントロールの解明	室園 美智博	麻酔科学	1,100	補委 日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫に対する新たな集学的治療の開発-ALIMTAとPDTの併用	白田 実男	外科学(1)	1,000	補委 日本学術振興会
地域・職域における生活習慣病予防活動・疾病管理による医療費適正化効果に関する研究	織田 順	救急医学	2,000	補委 厚生労働省
高度医療技術の効率化及び標準化の開発に関する研究	池田 徳彦	外科学(1)	1,500	補委 厚生労働省
システム生物学的的方法論による癌のバイオマーカー及び分子標的の探索	平野 隆	外科学(1)	3,300	補委 厚生労働省
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	西村 俊秀	外科学(1)	2,500	補委 厚生労働省

小計 26



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
難治性血管炎に関する調査研究	重松 宏	外科学(2)	2,000	補委 厚生労働省
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法 の確立に関する研究	青木 達哉	外科学(3)	1,000	補委 厚生労働省
臨床病期II・IIIの下部直腸癌に対する側方リンパ 節郭清術の意義に関するランダム化比較試験	青木 達哉	外科学(3)	1,500	補委 厚生労働省
人由来組織利用研究円滑化のための社会的・技 術的インターフェースの整備	青木 達哉	外科学(3)	800	補委 厚生労働省
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	土田 明彦	外科学(3)	3,000	補委 厚生労働省
進行頭頸部癌に対する漢方治療の有用性評価	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	1,000	補委 厚生労働省
前庭機能異常に関する調査研究	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	1,000	補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良 その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する 研究	河島 尚志	小児科学	500	補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良 その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する 研究	宮島 祐	小児科学	500	補委 厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	山本 謙吾	整形外科	1,000	補委 厚生労働省
国内外の精神科医療における疾病分類に関する 研究	飯森 眞喜雄	精神医学	7,500	補委 厚生労働省
国内外の精神科医療における疾病分類に関する 研究	丸田 敏雅	精神医学	1,130	補委 厚生労働省
骨髄異形成症候群に対する病態解明・治療法の 開発に関する研究	大屋敷 一馬	内科学(1)	3,000	補委 厚生労働省
難治性白血病に対する標準的治療法の確立に 関する研究	伊藤 良和	内科学(1)	500	補委 厚生労働省
多施設共同研究に登録された白血病の検体収集 と中央保存システムの確立	田内 哲三	内科学(1)	700	補委 厚生労働省
門脈血行異常症に関する調査研究	森安 史典	内科学(4)	13,000	補委 厚生労働省
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび 画像診断システムの開発	森安 史典	内科学(4)	3,000	補委 厚生労働省
国内未承認エイズ治療薬等を用いたHIV感染症 治療薬及びHIV感染症至適治療法の開発に係 る応用研究	福武 勝幸	臨床検査医学	84,580	補委 厚生労働省
血友病の治療とその合併症の克服に関する研究	天野 景裕	臨床検査医学	1,500	補委 厚生労働省
治療の実施に関する研究[PDT半導体レーザー・ タラポルフィンナトリウム]	秋元 治朗	脳神経外科学	1,000	補委 厚生労働省
血液サンプルを用いた、難治性固形癌のがん薬 物療法の効果予測因子の臨床的有効性の検討	池田 徳彦	外科学(1)	1,500	補委 厚生労働省
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のため の多施設共同研究	池田 徳彦	外科学(1)	2,500	補委 厚生労働省
成人難治性白血病の分子生物学的特徴に基づ く治療法に関する研究	大屋敷 一馬	内科学(1)	1,600	補委 厚生労働省
「メタボリック・シンドローム関連疾患における個別 化医療の実現」(閉塞性動脈硬化症における個別 化医療の実現)	重松 宏	外科学(2)	6,360	補委 文部科学省 科学技術振興費
多視点化による「共有する医療」の実現に向けた 研究	行岡 哲男	救急医学	2,050	補委 科学技術振興機構 社会技術研究開発 事業
Study the combined effects of MK -0457 and vorinostat and dasatinib on T3151 BCR-ABL and wild type-(WT) BCR-ABL in vivo (mice)	田内 哲三	内科学第一講座	36,970	補委 Merck & Co., Inc.

小計 26  
合計 52

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Autophagy	Vitamin K2 induces autophagy and apoptosis simultaneously in leukemia cells.	Yokoyama T, Miyazawa K, Naito M, Toyotake J, Tauchi T, Itoh M, Yuo A, Hayashi Y, Georgescu MM, Kondo Y, Kondo S, Ohyashiki K.	内科学第一講座
Int J Hematol.	Leukocytosis is linked to thrombosis at diagnosis, while JAK2 V617F mutation is associated with thrombosis during the course of essential thrombocythemia.	Ohyashiki K, Kiguchi T, Ito Y, Fujimoto H, Gotoh A, Tauchi T, Miyazawa K, Kimura Y, Ohyashiki JH.	内科学第一講座
Cancer Sci.	Activity of a novel Aurora kinase inhibitor against the T315I mutant form of BCR-ABL: in vitro and in vivo studies.	Akahane D, Tauchi T, Okabe S, Nunoda K, Ohyashiki K.	内科学第一講座
Int J Hematol.	Relapse of chronic myeloid leukemia—chronic phase 14 years after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Akahane D, Ito Y, Sumi M, Tauchi T, Kimura Y, Ohyashiki K.	内科学第一講座
Leuk Res.	Compliance with taking imatinib mesylate in patients with chronic myeloid leukemia in the chronic phase.	Kiguchi T, Tauchi T, Ito Y, Miyazawa K, Kimura Y, Ohyashiki K.	内科学第一講座
Int J Hematol.	Karyotypically independent clones with del(11q) and trisomy 10 in acute myeloid leukemia: trisomy 10 may appear as an additional change.	Gotoh M, Sasaki Y, Iguchi T, Fujimoto H, Kodama A, Kiyoi H, Naoe T, Ohyashiki K.	内科学第一講座
Int J Hematol.	Japanese epidemiological survey with consensus statement on Japanese guidelines for treatment of iron overload in bone marrow failure syndromes.	Suzuki T, Tomonaga M, Miyazaki Y, Nakao S, Ohyashiki K, Matsumura I, Kohgo Y, Niitsu Y, Kojima S, Ozawa K.	内科学第一講座
Int J Hematol.	A safety, pharmacokinetic and pharmacodynamic investigation of deferasirox (Exjade, ICL670) in patients with transfusion-dependent anemias and iron-overload: a Phase I study in Japan	Miyazawa K, Ohyashiki K, Urabe A, Hata T, Nakao S, Ozawa K, Ishikawa T, Kato J, Tatsumi Y, Mori H, Kondo M, Taniguchi J, Tanii H, Rojckjaer L, Omine M.	内科学第一講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leukemia.	Myelodysplastic syndrome with chromosome 5 abnormalities: a nationwide survey in Japan.	Tasaka T, Tohyama K, Kishimoto M, Ohyashiki K, Mitani K, Hotta T, Kanamaru A, Okamoto S, Karasawa M, Kimura A, Tomonaga M, Uchiyama T, Ozawa K; Japanese Cooperative Study Group for Intractable Bone Marrow Diseases.	内科学第一講座
Am J Hematol	Consensus statement on iron overload in myelodysplastic syndromes.	Bennett JM; MDS Foundation's Working Group on Transfusional Iron Overload.	内科学第一講座
Am J Hematol.	Multicenter prospective trial evaluating the tolerability of imatinib for Japanese patients with chronic myelogenous leukemia in the chronic phase: does body weight matter?	Kanda Y, Okamoto S, Tauchi T, Kizaki M, Inokuchi K, Yabe M, Yokoyama K, Ito Y, Kimura Y, Higashihara M, Bessho M, Ando K, Chiba S, Kurokawa M, Oshimi K, Dan K, Ohyashiki K, Ikeda Y; Tokyo STI Study Group (TSSG).	内科学第一講座
Cancer Genet Cytogenet.	Recurrent der(9;18) in essential thrombocythemia with JAK2 V617F is highly linked to myelofibrosis development.	Ohyashiki K, Kodama A, Ohyashiki JH.	内科学第一講座
Clin Cancer Res.	Characteristics of dasatinib- and imatinib-resistant chronic myelogenous leukemia cells.	Okabe S, Tauchi T, Ohyashiki K.	内科学第一講座
Int J Hematol.	Current and future perspectives on the TARGET system: the registration system for Glivec established by the JSH.	Kizaki M, Okamoto S, Tauchi T, Tanaka H, Tanimoto M, Inokuchi K, Murayama T, Saburi Y, Hino M, Tsudo M, Shimomura T, Isobe Y; TARGET Investigators.	内科学第一講座
Rinsho Ketsueki.	HIV-related multiple non-Hodgkin lymphomas	Gotoh M, Kitahara T, Iguchi T, Izumi M, Mukai K, Ohyashiki K.	内科学第一講座
Arch Pathol Lab Med.	Telomerase activity in effusions: a comparison between telomere repeat amplification protocol in situ and conventional telomere repeat amplification protocol assay.	Hansson M, Zendeherokh N, Ohyashiki J, Ohyashiki K, Westman UB, Roos G, Dejmek A.	内科学第一講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Rinsho Ketsueki.	Molecular relapse of chronic myeloid leukemia after discontinuation of imatinib mesylate for maintaining complete molecular response for more than 2 years	Kiguchi T, Tauchi T, Ohyashiki K.	内科学第一講座
Int J Hematol.	Enhanced expression of the EVI1 gene in NUP98/HOXA-expressing leukemia cells.	Eguchi-Ishimae M, Eguchi M, Ohyashiki K, Yamagata T, Mitani K.	内科学第一講座
Biochem Biophys Res Commun.	Mechanism of MK-0457 efficacy against BCR-ABL positive leukemia cells.	Okabe S et al.	内科学第一講座
Brit J Haematol.	Prospective monitoring of BCR-ABL1 transcript levels in patients with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukaemia undergoing imatinib-combined chemotherapy.	Yanada M et al.	内科学第一講座
Hypertens Res 31(11): 2019-2025, 2008	The relationships of cardiovascular disease risk factors to flow-mediated dilatation in Japanese subjects free of cardiovascular disease	Tomiyaama H.	内科学第二講座
Osteoporos Int 19(8): 1185-1192, 2008	Link between obstructive sleep apnea and increased bone resorption in men	Tomiyaama H.	内科学第二講座
Hypertension Res 31(6): 1087-1092, 2008	Overweight body mass index classification modifies arterial stiffening associated with weight gain in healthy middle-aged Japanese men	Yamada J.	内科学第二講座
J Cardiol 51(2): 114-120, 2008	Effects of azelnidipine on the autonomic functions and its influence on arterial stiffness and endothelial functions	Yamada J.	内科学第二講座
Ann Nucl Med 22(3): 185-190, 2008	Differential effects comparing exercise and pharmacologic stress on left ventricular function using gated Tc-99 sestamibi SPECT	Ohtaki Y.	内科学第二講座
J Cardiol 51(3): 163-170, 2008	Brachial-ankle pulses wave velocity as a marker of subclinical organ damage in middle-aged patients with hypertension	Matsumoto C.	内科学第二講座
Hypertension Res 32(2): 122-126, 2009	Synergistic effect of smoking and blood pressure on augmentation index in men, but not in women	Tomiyaama H.	内科学第二講座
Hypertension Res 32(2): 127-132, 2009	Association of blood pressure levels with the effects of alcohol intake on the vasculature in Japanese men	Matsumoto C.	内科学第二講座
Hypertension Res 32(3): 201-206, 2009	Concomitant existence and interaction of cardiovascular abnormalities in obstructive sleep apnea subjects with normal clinic blood pressure	Tomiyaama H.	内科学第二講座
J Cardiol 53(1): 43-52, 2009	Important parameters in the detection of left main trunk disease using stress myocardial perfusion imaging	Shiba C.	内科学第二講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Nuclear Cardiology 16(1): 20-27, 2009	Diagnostic value of left ventricular function after adenosine triphosphate loading and at rest in the detection of multi-vessel coronary artery disease using myocardial perfusion imaging	Hida S.	内科学第二講座
日本臨床生理学会誌・38 巻・4号・p221-227・ 2008.08.	ストレプトプトシン糖尿病ラット心筋におけるcyclic ADP ribose含量とPioglitazone投与の与える影響について HPLCを用いた新たな測定系の確立	小林高明	内科学第三講座 (糖尿病代謝内分泌内科)
Mod Rheumatol. 18(5):516-21,2008	Acute pan-dysautonomia as well as central nervous system involvement and peripheral neuropathies in a patient with systemic lupus erythematosus	Yukawa S, Tahara K, Shoji A, Hayashi H, Tsuboi N	内科学第三講座 (リウマチ膠原病内科)
Clin Rheumatol. 27(9):1199-201, 2008	Long-term remission by cyclosporine in a patient with eosinophilic fasciitis associated with primary biliary cirrhosis	Tahara K, Yukawa S, Shoji A, Hayashi H, Tsuboi N	内科学第三講座 (リウマチ膠原病内科)
Mod Rheumatol. 18(4):416-21,2008	Dramatic regression of mesenteric abnormalities demonstrated on angiography following prednisolone and cyclophosphamide combination therapy in a patient with polyarteritis nodosa associated with Sjögren's syndrome	Yukawa S, Tahara K, Yukawa N, Shoji A, Tsuji S, Hayashi H, Tsuboi N	内科学第三講座 (リウマチ膠原病内科)
臨床リウマチ 20(3):205- 210,2008	サイトメガロウイルス肺炎の治療中に薬剤性と考えられる肺障害をきたしたループス腎炎の1例	太原恒一郎, 湯川宗之助, 林映, 庄司亜樹, 辻聡一郎, 坪井紀興	内科学第三講座 (リウマチ膠原病内科)
日本臨床免疫学会会誌 31(3):183-189,2008	高齢発症ループス膀胱炎の一例	湯川宗之助, 太原恒一郎, 林映, 辻聡一郎, 庄司亜樹, 坪井紀興	内科学第三講座 (リウマチ膠原病内科)
臨床リウマチ 20(1):35- 40,2008	胸水貯留を伴わない胸膜炎を合併し抗結核剤投与が奏効した膠原病の2症例	太原恒一郎, 湯川宗之助, 庄司亜樹, 辻聡一郎, 林映, 坪井紀興	内科学第三講座 (リウマチ膠原病内科)
アレルギー 57(12).1293-1301,2008	成人気管支喘息患者における治療効果と呼気一酸化窒素濃度(FeNO:The Fraction of Exhaled Nitric Oxide)の変化	粒来 崇博* 森田園子	内科学第三講座 (アレルギー(喘息)内科)
アレルギー 57(8),1012- 1021,2008	成人気管支喘息患者における鼻腔気及びと呼気一酸化窒素濃度(FeNO:The Fraction of Exhaled Nitric Oxide)測定の実際	粒来 崇博* 森田園子	内科学第三講座 (アレルギー(喘息)内科)
Allergol Int 57(3), 223- 229, 2008	Relationship between exhaled nitric oxide measured by two offline methods and bronchial hypersensitivity in Japanese adults with asthma	Tsuburai T.* Morita S.	内科学第三講座 (アレルギー(喘息)内科)
Int J Cancer 122(11): 2526-2534, 2008	V gamma 9 V delta 2 T cell cytotoxicity against tumor cells is enhanced by monoclonal antibody drugs--rituximab and trastuzumab	Tokuyama H, Hagi T*, Mattarollo SR*, Morley J*, Wang Q*, Fai-So H*, Moriyasu F, Nieda M*, Nicol AJ*	内科学第四講座
Gastrointest Endosc 68(3): 455-460, 2008	Endoscopic transpapillary gallbladder drainage in patients with acute cholecystitis in whom percutaneous transhepatic approach is contraindicated or anatomically impossible (with video)	Itoi T, Sofuni A, Itokawa F, Tsuchiya T, Kurihara T, Ishii K, Tsuji S, Ikeuchi N, Tsukamoto S, Takeuchi M, Kawai T, Moriyasu F	内科学第四講座